

結婚相談室

相談日:原則として毎月第2、第4土曜日
10:30～16:00

休 室:8月第2土曜日、10月、12月第4土曜日
特別相談日:10月第3土曜日、11月第4土曜日(祝日)

会 場:実践桜会会館

入会資格:本校卒業生及び卒業生のご紹介の心身共に健康な男女

入会金:2万円、その他書類代として1千円

入会時にお持ち頂くもの:入会ご希望の本人自筆の履歴書、写真5枚(本人のみ、スナップ可)

☆秘密厳守で評判の良い相談室です。

☆詳細は相談日にお問い合わせ下さい。

連絡先:TEL 03-3407-7459 実践桜会

実践桜会会館・貸室のご案内

真新しい会館をクラス会、サークル活動、各種打ち合わせ等にお気軽にご利用下さい。貸室の予約、料金など詳細は、実践桜会会館(TEL:03-3407-7459)にお問い合わせ下さい。

源氏物語『湖月抄』 大学図書館へ寄付される



千葉県市原市在住の川上元栄さん(実践女子専門学校卒、平成23年に93歳で逝去)のご遺族から大学図書館へ源氏物語『湖月抄』五十六巻(1675年刊行、北村季吟著、全六十巻、四巻欠損、江戸時代後期の刷り)が寄付されました。

『湖月抄』は、源氏物語の注釈本で、これを読めば源氏物語がわかりやすく理解できると言われ、江戸時代に最も読まれていました。寄付された図書は、全巻ともに虫喰いや汚れ、傷みがほとんどなく、保存状態が非常に良いとのこと。大学図書館では、燻蒸や補修などの処置を施した後、学生のために活用するそうです。(中村 和枝、昭和61年大英卒)

実践桜会囲碁教室

『へたな考え休むに似たり』これは、「碁の基本、碁の理を知らないのに懸命に考えても仕方なく、まずは上手(うわて)に教わったり、上手の碁を真似ることから始めましょう」という碁の格言です。囲碁なんて難しくて入門できないと思いの方、まずはやってみてはいかがでしょう。囲碁を通し、落ち着いた考え方、また静寂な時を過ごせるのも魅力です。碁石の並びは宇宙の縮図の様に思えます。初心者、経験者の両者共、アマ6段の腕前の柳川先生が、優しくご指導してください。卒業生のご参加をお待ちしております。(J.Y) 教室開催日(予定) 4/8、4/22、5/13、5/27、6/10、6/24、7/8、7/22、8/12、8/26、9/9、9/30

会 費:1回1,000円

会 場:実践桜会会館

講 師:柳川正興先生(アマ6段)

連絡先:実践桜会会館 03-3407-7459

学園史資料室では皆様からの情報をお待ちしております

学園史資料室では、実践女子学園の歴史的資料を収集し記録しております。例えば、卒業生の皆様やご家族から、卒業アルバム、学生時代のノート等を借用し複写をさせていただくことも構いません。創立から戦災を経て現在まで、些細な事柄や小物まで全てが歴史の一頁です。情報のご提供をお待ちしております。

連絡先:〒191-8510 東京都日野市大坂上4-1-1

実践女子学園 学園史資料室 電話 042-585-8945

第2回実践桜会奨学生交流会を開催しました

実践桜会会館1階ホールで開かれた交流会では、外国人留学生たちの熱意あふれるスピーチに続き、実践女子学園の高等学校、短期大学、大学で学ぶ奨学生達も談話を披露。その後、実践女子大学華道家道(小原流)の学生の指導のもと留学生たちは活け花を体験。会場は花の香りに満ち、華やかな交流会となりました。



【編集後記】

- 校了前の慌ただしい時が過ぎ、何とか発行出来てほっとしています。できるだけ多くの記事を載せたかったのですが、紙面の都合で、ままならなかったことをご了解ください。(YT)
- 今号の編集テーマは①新しい実践②下田歌子精神③学園と実践桜会との連携に視点をおき構成しました。創立120周年を契機にその歴史の重さとそれを取り巻く社会の急速な変化はとどまることがなく、私たちに意識の変革を求めています。今回から表紙の色を「日本の伝統色」より選んでいます。(ST)
- 協力団体各支部、科会の皆様、本年度行事予定の集約に奔走! 戴き有難うございます。続々と集まる情報に、同窓生の現役力を感じます。活動情報は年中無休です。お待ちしております。(SK)

【表紙の色】日本の伝統色より「丁字色」

【寄附者ご芳名】(敬称略)

山梨支部、原加寿子、鍛島康子、篠田俊子、福村和子、中村みさ子、熊切富子、紅林誠子、浦上淳子 *ご寄付は随時、受け付けております。

【お願い】

転居・改姓等をされた方および会費のコンビニ入金をされる方で住所変更もある場合は、会員番号をご確認の上、実践桜会事務局(TEL:03-3407-7459、FAX:03-3499-0835)までご連絡ください。

編集・発行:一般社団法人教育文化振興 実践桜会

編集・発行人:浦上淳子

〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-40

TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835

URL:http://www.j-sakura.org

広報部メールアドレス:jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

振込口座:東京 00190-0-23848 (転居された場合はご連絡ください)

印刷:凸版印刷

平成25年度 定時総会のご案内

平成25年度定時総会を下記の要領で開催いたします。ご出席賜りますよう、よろしくお願いいたします。

日時:平成25年5月19日(日)午前 11時開会

場所:セルリアンタワー東急ホテル

B2F ボールルーム

東京都渋谷区桜丘町26-1 渋谷駅徒歩5分

TEL:03-3476-3000

議案:1.平成24年度事業報告

2.平成24年度決算書承認の件

3.公益目的支出計画実施報告書承認の件

4.監査報告

5.平成25年度事業計画及び予算の件

総会終了後、親睦パーティーを開催します。

会費:一般会員 10,000円

新入会員 9,000円

(会費は当日会場でも受け付けます)

ご出席の方は実践桜会事務局へ4月30日(火)迄にお申し込み下さい。皆様のご参加をお待ちいたしております。

TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835

*欠席の方は必ず同封の委任状に住所、氏名、卒業学科を明記の上ご返送下さい。

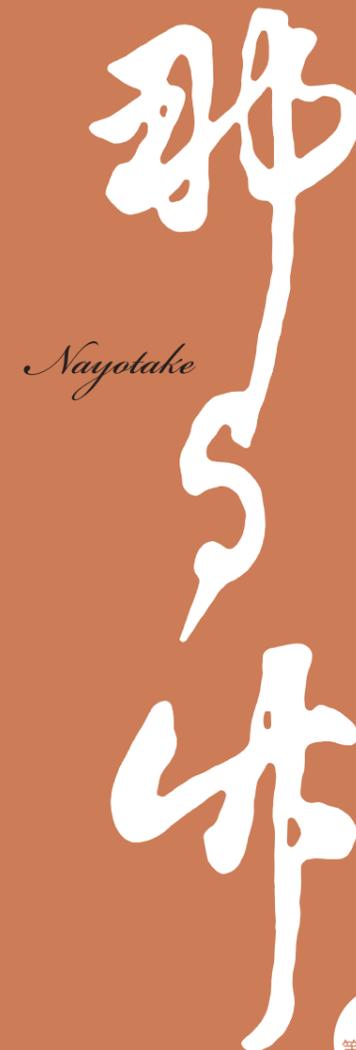
支部での一括送付も受け付けます。

*総会出席で宿泊希望の方は会員のための割引があります。

実践桜会事務局へお問い合わせ下さい。



実践桜会と学園の共催で華やかに催された「祝 成人の会」(実践女子学園桃天館)



会費納入のお願い

年会費2,000円の今年度分を、同封の振込用紙でご納入ください。お近くのコンビニまたはゆうちょ銀行か郵便局(窓口、ATM)をご利用下さい。実践桜会事務局でも受け付けております。



理事長対談

下田歌子先生の 建学の精神を礎に 新しい「実践」が始まる



実践桜会理事長
浦上 淳子

2019年の創立120周年に向けて、実践女子学園は大学2学部と短大のキャンパス移転、教育改革など、さまざまなテーマに精力的に取り組んでいます。20年、30年後も揺るぎない学園の未来を描いていくために、いま何が必要なのか、学園・実践桜会の両理事長が語り合いました。



実践女子学園理事長
井原 徹

学園の存在感を高める渋谷移転

浦上 2014年1月、渋谷キャンパスに大学・短期大学棟が竣工します。日野から渋谷への移転(注: 大学2学部・大学院2研究科・短大が移転)は、在学生も卒業生も待ちに待っていたことで、学園のあり方も随分変わってくるのではないのでしょうか。

井原 大きく変わるでしょうね。少子化は深刻な問題で、かつて230万人いた18歳人口が現在では約半分の120万人に減少し、2035年頃には80万人に落ち込むと予測されています。そんな時、何も手を打たずに20年先、30年先も生き残れるのか。卒業生の皆さんも危機感を抱かれていたのではないかと思います。

浦上 大学の都心回帰が進んでいますが、渋谷は若い人たちに大変人気のある街です。そこに、中高から短大、大学まで揃った“都心型キャンパス”が誕生する。今後、「大学も実践で学びたい」という実践女子学園高等学校の卒業生が増えてくることを期待しています。

井原 現在、実践の高校卒業生の約15%しか短大・大学に進学していません。内部進学率80%という時代があったことを考えると、激減しています。受験校になってしまった結果です。

浦上 それは多くの女子大、女子高が抱えている問題ですね。大学・短大に希望する専攻課程がない、男女共学がいい、都内に通学したい等々、理由はさまざまでしょうが…。いずれにしても、都心に立地することで、進学しやすい環境が整いました。先日の「祝 成人の会」でも、日野の学生たちが「1年後に渋谷に戻るのが、すごく楽しみ」と話しているのが印象的でした。

井原 新しい渋谷キャンパスは、女性の生涯学習の拠点となることをめざしています。都心型キャンパスにふさわしく、女性のキャリアアップにつながる夜間の講座を設けることも検討しています。一方、日野は生活科学系の地域中核型キャンパスとして、こちらも教育内容を一新する計画です。

浦上 渋谷では中学から大学まで一堂に揃う利点を生かし、学園祭を一緒に開催するプランも出ているとお聞きしました。生徒や学生の相互交流を

深めるのは、素晴らしいことだと思います。

井原 キャンパスにも活気が生まれてきますね。多くの大学関係者の危機感が、渋谷移転につながりました。少子化という厳しい環境下で、かつてのブランド力を失いつつある実践が、このまま日野だけでやっていくのは無理だという共通の認識があつてのことです。

実践が輝いていた時代を取り戻す

浦上 井原理事長がおっしゃる学園のブランド力低下は、一体どこに原因があるとお考えですか。

井原 私のように他大学から来た人間だから、見えることがあります。実践の良さは皆さん穏やかで、直にものをおっしゃらないこと。それは美点でもあるのですが、難しい問題を棚上げし、先送りにしてきました。そのツケがこここのところずっと回ってきているわけです。

浦上 荒療治が必要だと。

井原 荒療治というより、旧弊の大掃除ですね。先送り体質や過去の既得権重視の体質を一掃する。問題をうやむやにしてきたから、おかしくなったわけですから。

浦上 かつての実践は、大変人気のある学校でした。

井原 学園の草創期は、下田歌子先生の魅力、求心力で全国から大勢の子女が集まってきました。学生たちは先生を慕い、親も安心して送り出していた。先生が亡くなられてからも、あの下田歌子が創った学校という信頼感、そして卒業生が社会で活躍していた時代が長く続いたと思うのです。礼儀礼節を重んじる教育も有名でした。ところが、ここ30年ほどは実践らしい伝統も失われ、偏差値も低下し、内部進学率も激減しているという現実があります。

浦上 そうした厳しい現状を踏まえ、今後、学園の舵取りをどのように進めていかれる方針ですか。

井原 実践が輝いていた時代を取り戻すこと。それが、私のミッションです。いまの実践をみると、どんな大学なのか、どこに特長や強みがあるのか、全然是っきりしない、見えてこない。それで、今年の5月から「教学審議会」をスタートさせること

にしました。

浦上 どんな審議会になるのでしょうか。

井原 学園の20年後、30年後の未来像をとことんまで議論します。こういう学校になろう、ここに特徴をもたせようということですね。審議会には、教職員だけでなく、卒業生の方にも参加していただきます。他大学の事例も参考にしながら、実践としてとり得る手段、方向性、目標を2年間かけてじっくり詰めていきます。

学園と実践桜会の「絆」を深める

浦上 お話を伺い、私たち卒業生も危機感を共有しなければと強く感じました。理事長は、実践が再び羽ばたいていくために、何が必要だと考えていらっしゃいますか。

井原 守るべきものを守る勇気と、変えなくてはいけないものを変える勇気—この二つの勇気をもつことでしょうか。守るべきものは、下田歌子先生の建学の精神です。女性としての誇りを持ち、「揺りかごを動かす手は世界を動かす」という気概を持ってほしい。「品格高雅」「自立自営」という下田先生の言葉もあります。これは、変えてはいけない実践のアイデンティティーですよね。逆に、変えていくのは、先ほどお話しした古い体質の大掃除。こんなものを守っているからダメだというところは、大胆に変えていきます。

浦上 学部・学科の再編成であるとか、時代に合わせた取り組みという点ではいかがでしょう。

井原 それも検討しています。地域貢献のあり方や取り組み、企業との連携など、今まで実践があ

まりやってこなかった新しいことにもトライしていきます。

浦上 ところで、学園にとって同窓会はどのような存在であってほしいとお考えですか。

井原 とても大きな存在であってほしいですね。これは長年の持論なのですが、学校の基本構成員は学生と教職員。ここまでは誰でも考えます。私は肝心の卒業生を忘れていませんかと言いたい。なぜなら、卒業生たちが社会で活躍し、評価されることで、学校の知名度も上がっていくわけですから。

浦上 実践桜会の活動には、どんなことを期待されますか。

井原 よき応援者であり、よき批判者であってほしいと思います。ご存じの方も多いでしょうが、コーポレート・ガバナンス(企業統治)という考え方があります。大学はユニバーシティ・ガバナンスですね。私ども理事会は、大学のマネジメントを担当する経営執行グループです。実践桜会には、大学経営が健全に機能しているか、それを監督し、問題点があれば批判する一定のパワーグループとして存在していただきたいと思っています。

浦上 多くの卒業生が、大学・短大の渋谷移転を機に学園の存在感が高まり、未来への飛躍の第一歩となることを願っていると思います。実践桜会でも、より多くの同窓生に母校の発展への協力を呼びかけ、そしてこれまで以上に学園との絆を深めていきたいと考えています。本日はどうもありがとうございました。



理事長対談

“殻を破る” 人材の養成へ

実践女子大学・
実践女子短期大学 学長

田島 眞



湯浅学長の後任として、2013年4月より実践女子大学・実践女子短期大学の学長に就任いたしました。本学に勤務して23年、学科主任、教務部長、生活科学部長を経ての就任です。湯浅学長の前が、飯塚学長でやはり生活科学部出身でしたので、それ以来となります。

前学長は、大変、意欲的に各種の改革をいたしました。実践スタンダード科目の新設もその目玉でしょう。その成果が、そろそろ出てくると存じます。新学長になったからといって、すぐにこれらを変えるつもりはありません。その成果の検証を待ってからで遅くはないでしょう。

ところで、いよいよ2校地化が目前に近づいてまいりました。渋谷には文学部、人間社会学部、短期大学が移転いたします。日野には生活科学部が残ります。短大の食物栄養学科は、生活科学部食生活科学健康栄養専攻として衣替えいたします。渋谷と日野それぞれのキャンパスが共に発展していくように努めることが、私に課せられた使命とっております。

23年間、学生と接していて、実践女子大学の学生は、一言でいえば「おとなしい」です。これは、昔風にいえば良妻賢母を育てる教育の賜物ともいえます。世間での実践女子大学生に対する評価も同じようなものだと思います。もちろん、おとなしいには良い面も多くあります。マナーを守る、仕事では言われたことはきちんとこなす、などです。ところが仕事の上で、リーダーシップをとっていくには、おとなしいだけでは済みません。殻を破った行動も必要です。

高橋前理事長のときに策定した実践女子大学・短期大学の教育理念、「品格高雅」「自立自営」の後段を達成するには、今一步、殻を破るような人材の養成が必要でしょう。実践桜会のキャリアネットの活動もその一助となると期待しております。渋谷と日野に分かれるのをきっかけに、全学的にカリキュラムを見直して、少しでも殻を破る学生を育てられたらなと思っております。これからのご支援をお願い申し上げます。

中高卒業生を繋いだ 「祝 成人の会」

実践女子学園中学校高等学校 校長

嶋野恵子



日頃、実践女子学園中学校高等学校の教育活動にご理解、ご協力をいただきまして有難うございます。実践桜会会館が校舎に隣接するところに建設されたことにより、一段と実践桜会が身近に感じられるようになりました。

さて、今年1月14日(月・祝)、学園と実践桜会の共催により、新成人になった卒業生を招待して、「祝 成人の会 Jissen Welcomes You Back!」を開催いたしました。

ここ数年、8-9割の生徒が実践以外の大学に進学している現状の中、高校卒業と同時に実践とは疎遠になっていくように感じておりました。勿論、学校としては卒業後の彼女たちの里帰りは大いに歓迎しますが、あくまでも心の故郷としての学校でしかありえません。先々のことを考えますと、大好きな実践と卒業してからも確実に繋がる場は同窓会であるということ、卒業生の心に刻んで送り出す必要性を感じました。

また、私学の中学校に進学した生徒にとって、地元で開催される成人式は出席はするものの、居場所が無いと感じている卒業生は本校生徒だけではないようです。多くの方々に無理とも思えるお願いをして実行に移したのは、私の性急な性格によるところともありますが、毎年寂しい思いをしている新成人の心の叫びが推進したものとご理解いただけましたら幸いです。当日は大雪、大荒れの天気となりましたが、開催することといたしました。あの天候をものともせず、主役は次々と会場に到着し、最終的には160名の出席者があり、会は大盛況となりました。多感な時期を共に過ごし、感動を共有した友との久しぶりの再会は、とても華やかなものとなり、新成人への大きなプレゼントとなったようです。今回、主役の新成人が、次会の運営手伝いを約束してくれました。ここにも実践の伝統ともいえる「繋ぐ」が実感できました。

最後になりましたが、実践桜会理事長浦上様、ときわ会会長古藤様を始め、「祝 成人の会」の実現にご尽力いただいた全ての皆様がこの場をお借りして御礼申し上げます。

実践桜会 平成 25 年度年間行事予定表

□日は未定

年月	本 部	協力団体(支 部)
H25 4月	6日 春季委員会(於:実践桜会会館) 初旬 「那与竹」第76号発行 13・27日 結婚相談 20日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷) □日 入学記念品贈呈(院・大・短・中) □日 協力団体への助成金給付 □日 国際交流基金給付生募集 □日 実践桜会奨学基金給付生募集	7日 沖縄支部 第1回役員会 上旬 山形支部 役員会(当番幹事引継ぎ他) 上旬 鳥取支部 懇親会 上旬 佐賀支部 第1回幹事会(支部総会準備・会計監査) 20日 茨城支部 第1回役員会 22日 岡山支部 総会(於:ホテルたけへの森) 中旬 埼玉支部 役員会(講習会の反省、会計監査) 中旬 山梨支部 役員会 中旬 群馬支部 役員会(総会準備会) □日 千葉支部 世話人会 □日 千葉支部 佐倉・八千代・四街道・酒々井ネット(歴博探訪) □日 英国支部 支部会予定
	11・25日 結婚相談 19日 定時総会 (於:セルリアンタワー東急ホテル) 25日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	19日 大分支部 本所定時総会に出席 中旬 新潟支部 幹事会 中旬~下旬 埼玉支部 役員会、彩の国めぐり下見、 第17回支部総会案内の発送 総会の準備会
5月	3日 国際交流基金選考委員会(書類選考)	2日 千葉支部 第10回記念総会・講演会 (大関啓子実践女子大学教授)・ 親睦会(実践マンドリンOG会/於:京成ホテル)
	8・22日 結婚相談 14日 実践桜会親睦バス旅行 「初夏を彩る甲州さくらんぼ狩りと 信玄餅工場見学・高原リゾートホテルでランチ」 16日 法律相談 16日 国際交流基金選考委員会(面接選考)	2日 沖縄支部 第2回役員会 2日 長野支部 役員会(於:松本市) 6日 佐賀支部 第49回総会(於:武雄「なかます旅館」) 8日 茨城支部 第2回役員会 9日 岩手支部 総会・懇親会 9日 沖縄支部 第3回役員会 9日 山口支部 総会・懇親会 初旬 関西支部 役員、幹事、地区委員合同委員会 初旬 宮城支部 総会 上旬 佐賀支部 第2回幹事会(欠席支部会員へ総会資料等送付作業) 初旬~中旬 埼玉支部 役員会総会の準備、彩の国めぐり下見 16日 札幌支部 総会・親睦会(於:京王プラザホテル札幌) 16日 沖縄支部 第5回役員会 中旬 山形支部 総会・懇親会・研修会(於:寒河江市) 中旬 群馬支部 総会・講演会・懇親会 22日 茨城支部 総会・懇親会・行事 23日 三重県支部 総会と講演会「式年遷宮と神宮央の変遷」 23日 沖縄支部 平成25年度支部総会(第21回) 29日 埼玉支部 総会・講演会(本学国文学科教授栗原敦氏 「生きつづける賢治―宮澤清六さんの ことばから―」懇親会 於:埼玉会館)
6月	3日 国際交流基金選考委員会(書類選考)	2日 千葉支部 第10回記念総会・講演会 (大関啓子実践女子大学教授)・ 親睦会(実践マンドリンOG会/於:京成ホテル)
	8・22日 結婚相談 14日 実践桜会親睦バス旅行 「初夏を彩る甲州さくらんぼ狩りと 信玄餅工場見学・高原リゾートホテルでランチ」 16日 法律相談 16日 国際交流基金選考委員会(面接選考)	2日 沖縄支部 第2回役員会 2日 長野支部 役員会(於:松本市) 6日 佐賀支部 第49回総会(於:武雄「なかます旅館」) 8日 茨城支部 第2回役員会 9日 岩手支部 総会・懇親会 9日 沖縄支部 第3回役員会 9日 山口支部 総会・懇親会 初旬 関西支部 役員、幹事、地区委員合同委員会 初旬 宮城支部 総会 上旬 佐賀支部 第2回幹事会(欠席支部会員へ総会資料等送付作業) 初旬~中旬 埼玉支部 役員会総会の準備、彩の国めぐり下見 16日 札幌支部 総会・親睦会(於:京王プラザホテル札幌) 16日 沖縄支部 第5回役員会 中旬 山形支部 総会・懇親会・研修会(於:寒河江市) 中旬 群馬支部 総会・講演会・懇親会 22日 茨城支部 総会・懇親会・行事 23日 三重県支部 総会と講演会「式年遷宮と神宮央の変遷」 23日 沖縄支部 平成25年度支部総会(第21回) 29日 埼玉支部 総会・講演会(本学国文学科教授栗原敦氏 「生きつづける賢治―宮澤清六さんの ことばから―」懇親会 於:埼玉会館)
7月	6日 実践桜会奨学基金給付候補者(高)決定 10日 法律相談 13日 国際交流基金奨学生説明会 13・27日 結婚相談 27日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	7日 沖縄支部 第6回役員会 初旬 千葉支部 ちばネット食事会 初旬 千葉支部 柏プラスネット手縫いを楽しむ会 上旬 群馬支部 総会反省会・総会資料送付作業 中旬 千葉支部 世話人会 中旬 埼玉支部 役員会(総会の反省、総会資料送付) □日 函館支部 総会と親睦会(於:富茂登)
	22日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	下旬 山梨支部 ラベンダー収穫・手芸(小物づくり)季節の野菜料理研修 下旬 千葉支部 ちばネット開催 下旬 福井県支部 総会 □日 千葉支部 市原ネットの集い □日 鹿児島支部 総会・懇親会
8月	9~18日 実践桜会会館夏期休暇 20日 社会活動助成金申請締切 24日 結婚相談 □日 キャリアネット会員交流会	1日 新潟支部 会報発行 4日 沖縄支部 第7回役員会 中旬 山梨支部 役員会:総会打ち合せ
	7日 地区懇談会(於:仙台) 11日 法律相談 14・28日 結婚相談 28日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	8日 沖縄支部 第8回役員会 初旬 千葉支部 会報「ミルフィーユ(第10回総会記念)」28号発行 初旬 千葉支部 柏プラスネットお便り発送 初旬 新潟支部 総会(予定) 初旬 埼玉支部 役員会(見学研修会下見準備) 初旬 小田原支部 「爽り会」支部会(於:神奈中グランドホテル平塚) 下旬 埼玉支部 役員会(見学研修会下見準備、後期事業打ち合せ) 下旬 山梨支部 総会・研修会・懇親会
9月	7日 地区懇談会(於:仙台) 11日 法律相談 14・28日 結婚相談 28日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	8日 沖縄支部 第8回役員会 初旬 千葉支部 会報「ミルフィーユ(第10回総会記念)」28号発行 初旬 千葉支部 柏プラスネットお便り発送 初旬 新潟支部 総会(予定) 初旬 埼玉支部 役員会(見学研修会下見準備) 初旬 小田原支部 「爽り会」支部会(於:神奈中グランドホテル平塚) 下旬 埼玉支部 役員会(見学研修会下見準備、後期事業打ち合せ) 下旬 山梨支部 総会・研修会・懇親会
	5日 秋季委員会(於:実践桜会会館) 5日 第1回国際交流基金奨学生交流会 (於:実践桜会会館) 8日 学祖祭(於:護国寺・実践桜会会館) 9日 法律相談 初旬 「なよたけ情報版」No.19発行 12・19日 結婚相談 19日 キャリアネット 「在学生の為の就職相談会」(於:日野) 26・27日 実践桜会バザー	1日 埼玉支部 彩の国めぐり日帰り見学研修会 「埼玉の日光国宝武州妻沼聖天山等」 6日 長野支部 総会(於:中信) 6日 沖縄支部 観劇 中旬 千葉支部 「南総親睦の旅」 中旬 群馬支部 日帰り研修旅行 中旬 愛媛支部 総会(於:松山市) 22日 関西支部 総会・親睦会・講演会 下旬 大分支部 総会(2年に1度開催)・懇親会 □日 大分支部 ときわ祭バザー用出品(かぼす)の発送
10月	5日 秋季委員会(於:実践桜会会館) 5日 第1回国際交流基金奨学生交流会 (於:実践桜会会館) 8日 学祖祭(於:護国寺・実践桜会会館) 9日 法律相談 初旬 「なよたけ情報版」No.19発行 12・19日 結婚相談 19日 キャリアネット 「在学生の為の就職相談会」(於:日野) 26・27日 実践桜会バザー	1日 埼玉支部 彩の国めぐり日帰り見学研修会 「埼玉の日光国宝武州妻沼聖天山等」 6日 長野支部 総会(於:中信) 6日 沖縄支部 観劇 中旬 千葉支部 「南総親睦の旅」 中旬 群馬支部 日帰り研修旅行 中旬 愛媛支部 総会(於:松山市) 22日 関西支部 総会・親睦会・講演会 下旬 大分支部 総会(2年に1度開催)・懇親会 □日 大分支部 ときわ祭バザー用出品(かぼす)の発送

□日は未定

年月	本 部	協力団体(支 部)
11月	9・10日 常磐祭(於:日野) 13日 法律相談 9・23日 結婚相談 10日 大・短大常磐祭協賛、 実践桜会賞授与(於:日野) 16日 キャリアネット第1回セミナー 30日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	初旬 埼玉支部 役員会(見学研修会の反省、 参加者への送付、今後の準備) 初旬 山梨支部 役員会:新年会打ち合せ 上旬 愛知支部 岐阜支部合同の総会 中旬 千葉支部 社会活動留学生交流会 下旬 千葉支部 ちばネット開催 □日 千葉支部 いすみ・茂原ネットの集い □日 千葉支部 世話人会
	7日 臨時総会 11日 法律相談 14日 結婚相談 14日 キャリアネット会員交流会 26日~1月5日 実践桜会会館冬期休暇	初旬 千葉支部 会報「ミルフィーユ」29号発行 初旬 関西支部 役員、幹事、地区委員合同委員会 上旬 佐賀支部 第3回幹事会(次年度計画・反省会) □日 大分支部 臨時総会
H26 1月	8日 法律相談 11・25日 結婚相談 12日 初春歌舞伎観劇会(於:国立劇場) 25日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	下旬 千葉支部 世話人会 下旬 埼玉支部 新年会他(第18回総会開催日程等打ち合せ) 下旬 山梨支部 手芸(袋物)・新年懇親会 下旬 大分支部 役員会(予定)
	8・22日 結婚相談 12日 法律相談 15日 キャリアネット第2回セミナー 22日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	上旬 群馬支部 役員会・新年会 中旬 埼玉支部 役員会(講習会、支部総会開催の準備) 下旬 千葉支部 ちばネット開催
2月	8・22日 結婚相談 12日 法律相談 15日 キャリアネット第2回セミナー 22日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	上旬 群馬支部 役員会・新年会 中旬 埼玉支部 役員会(講習会、支部総会開催の準備) 下旬 千葉支部 ちばネット開催
	1日 第2回実践桜会奨学生交流会 8・22日 結婚相談 12日 法律相談 22日 キャリアネット「卒業生の為の就職・ 転職相談会」(於:渋谷)	中旬 千葉支部 会報「ミルフィーユ」30号発行 ※ 松戸・野田・NIFU(習志野・市川・船橋・浦安) の各ネットに関しては千葉支部へお問合せ下さい。 下旬 茨城支部 第3回役員会(平成25年度の総括) 下旬 埼玉支部 実技研修会一編み物(手編み・小物)実習

学園だより

「創立120周年記念 1期整備計画募金」の御礼

卒業生の皆さまには、平成23年度に引き続き平成24年度も多大なるご支援とご協力を賜り、篤く御礼申し上げます。これまで、桜会(本部・支部)から19件6,090,000円、会員の皆さまから1,365件、37,394,031円(平成25年2月末日現在)のご寄付を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。
実践女子学園理事長 井原 徹

平成25年度実践女子大学・ 短期大学公開市民講座

〈前期〉
テーマ:多様な働き方とキャリア形成
第1回:5月18日(土) 14時~15時30分
「若年層の職業意識の変化と求められる人材マネジメント」
第2回:6月8日(土) 14時~15時30分
「プロフェッショナル志向の高まりとキャリア形成」
第3回:7月13日(土) 14時~15時30分
「キャリア・ディベロップメント・プログラムとキャリア形成」
会場:実践桜会会館(渋谷)
講師:谷内篤博(実践女子大学 人間社会学部教授)
※詳細は、学園HP (<http://www.jissen.ac.jp/>)をご覧ください。

ホームカミングデー開催のお知らせ

★実践女子学園中学校高等学校(渋谷校舎)
日時:平成25年10月27日(日)(ときわ祭開催中)
会場:第3館5階会議室
歓迎セレモニー・懇親会(予定)
●お問い合わせ先:実践女子学園 中高事務部
住所:〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-11
TEL 03-3409-1771
★実践女子大学・短期大学(日野・大学校舎)
日時:平成25年11月9日(土)(常磐祭開催中)
イベント・懇親会(香雪記念館2F会議室)予定
※短大の神明キャンパスの校舎は、2013年をもって供用を終了します。思い出のある校舎をぜひ見に来てください。

●お問い合わせ先:実践女子学園総合企画部 ホームカミングデー担当
住所:〒191-8510 東京都日野市大坂上4-1-1
TEL 042-585-8804

〈渋谷キャンパス大学・短期大学棟内観イメージ図〉



アトリウム 1階プラザ

学園行事予定表

年月	学 園	年月	学 園
H25 4月	3日 入学式(院・大学) 4日 入学式(短大) 8日 入学式(中・高)	9月	15日 オープンキャンパス(日野大坂上)
	5月	7日 学園創立記念日(創立114周年) 19日 オープンキャンパス(日野大坂上)	10月
6月	8~9日 学祖下田先生生誕地岩村墓参 16日 オープンキャンパス(日野大坂上)	11月	9日 常磐祭(ホームカミングデー) 10日 常磐祭
7月	27日 オープンキャンパス(渋谷中高校舎) 28日 オープンキャンパス(日野大坂上)	12月	14日 オープンキャンパス(日野大坂上)
8月	3日 オープンキャンパス(渋谷中高校舎) 4日 オープンキャンパス(渋谷中高校舎) 11日 オープンキャンパス(日野大坂上)	H26 3月	3日 高校卒業式 18日 中学卒業式 19日 短大卒業式 20日 大学卒業式

下田歌子に学ぶ(1)

実践女子大学 文学部 国文学科

教授 湯浅 茂雄

(前 実践女子大学・実践女子短期大学 学長)



0. はじめに

下田歌子は、女性の社会的な地位向上に大きな礎を築き、近代日本に大きな足跡を残した人物であり、我が学園創立者であるとともに、それを超えた存在でもある。その多彩でエネルギッシュな83年の生涯には、私たちが学ぶべき多くのものがある。

このような観点から、実践女子大学・実践女子短期



歌子、明治35年頃の肖像写真。撮影者は、夏目漱石の肖像写真で知られる小川一真

大学では、2年間の準備期間を経て、4年前から共通教育カリキュラムを刷新し、入学時の必修科目(実践入門セミナー)で「下田歌子に学ぶ」という教育プログラムをスタートさせた。「下田歌子に学ぶ」は、学長職が大・短のすべてのクラスを担うことになっているので、この4年間、私がこの授業を担当してきた。

これらの授業の冒頭で、受講の姿勢として学生に必ず伝えていることは以下のことである。それは、本学の創立者という理由だけで下田歌子を取り上げているのではなく、女性の地位向上という側面から、近代日本の礎を築いた人物として、男女、世代、地域を越えて学ぶべき先人だからこそ取り上げていること、しかも、女性である学生にとって、学園創立者として身近である先人女性を、一つの大きなロールモデルとして学んでもらい、将来に活かして貰いたいという思いからであるということである。

以上のことから、本稿では、この4年間、下田歌子について本学の学生に伝えてきたことを中心に、以下にトピックを分けて取り上げていきたいと思う。

1. 下田歌子の業績

創立者下田歌子の生涯はまことに多彩であり、不用意な要約は許されないが、下田歌子の生涯の業績をたどる、あくまでも道標として、いくつかの柱を立てておくことは許されるであろう。また、本稿で後に取り上げることが出来る内容には限りがあるので、ここで大まかではあるが創立者の生涯の業績を五点に整理して示させていただき、創立者の生涯の業績が見通しやすくなればと思うのである。

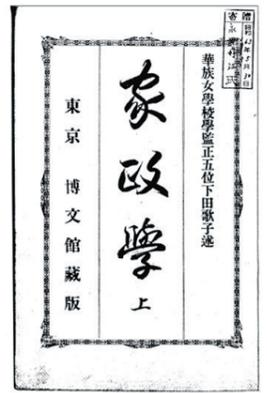
○近代女子教育の先駆者

○明治時代を代表する歌人○源氏物語講義に代表される源氏物語研究者、国文学者。また日本語学者



学園大講堂での源氏物語講義の様子

『家政学 上』
(明治26年)



○家政学者

○社会福祉事業家

○近代女子教育の先駆者

下田歌子の業績として第一にあげるべきが、女子教育者としての側面であることは論を俟たない。女性の社会的な地位がほとんど問題とされなかった時代において、いち早く女性の地位向上を目指し、その基礎が女子教育にあることを確信し、先頭に立って女子教育を推進し、生涯を女子教育に捧げ、大きな成果をあげたことは特筆すべきことである。歌人としてなど次項以下の側面も、当然ながら、女子教育者としての側面と強く有機的に関連するものである。

○明治時代を代表する歌人○源氏物語講義に代表される源氏物語研究者、国文学者。また日本語学者

歌才を愛でられた明治天皇の御后(後の昭憲皇太后)から「歌子」の名を賜ったことは当時の明治社会に喧伝された。皇后のこの評価は、単に歌作における技量に対するものではなく、その学識とすぐれた人柄に対するの評価であったというべきであろう。優れた歌を作る上では、源氏物語など日本の古典籍に広く通じていることが必要とされるが、歌子は若くしてそれを備えていた。後の下田の源氏物語講義は、坪内逍遙のシェイクスピア講義と並び称され、学園の生徒以外にも多くの聴衆を集めた。

また、下田歌子は日本語の文法書を著すなど、日本語学史に残る日本語学者でもあった。私も日本語学を専攻する者であり、日本語学者としての下田歌子を高く評価しているが、その業績については、以下の論考に詳しいので参照されたい。山下雅子「『家庭文庫』に於ける『女子普通文典』について」(『実践国文学』30号 1986.10)、福島邦道「下田歌子の『文典』覚え書き」

(『国語学』194 1998.9)

なお、私にも次のものがある。「下田歌子先生『国文小学読本』における品詞分類意識」(『会報』80 2008)。

○家政学者

家政学者でもあった下田歌子の一面は、もっと注目されるとともに、より強調されてしかるべきである。『家政学 上・下』(明治26年)は、翻訳ではないオリジナルなものとして、女性の手になる初めての家政学の専門書の出版であった。桃天学校や華族女学校で実際に教授した内容に基づくものであった。後にヨーロッパ視察での知見も踏まえて改訂した『新選家政学』(明治33年)は、後に中国の実情に合わせて翻訳され、中国で家政学の教科書として用いられた。これらの具体的な内容については、飯塚幸子・大井三代子「下田歌子と家政学」(『実践女子短期大学紀要』28 2007.3)に詳しく、参照されたい。

○社会福祉事業家

明治32年、我が学園の創立時に、実践女学校および同工芸学校とともに慈善女学校・下婢養成所(この二校は生徒が集まらず、早くに閉校した)を設立したことによく現れているが、下田歌子は早くから社会的な弱者救済への強い意志をもっていた。大正9年に愛国婦人会の第五代会長に就任するや、現在でいうところの社会福祉に関する活動を積極的に行い、世間を驚かせた。特に、大正12年の関東大震災においては、多くの被災者の救援に尽力し、その後も息長く、震災によって生じた社会的な弱者に手を差し伸べた。

先般の東日本大震災において、本学が、現在も被災家庭の学生をきめ細かく支援し、これからも息長く支援していきたいと考えているのは、このような創立者の姿を強く意識し、その意志を受け継ぎたいと考えて



昭和10年8月8日、
現在も残る下田歌子
顕彰碑の除幕式
が行われた



現在の岩村の町並み。歴史的景
観が保存されており趣深い

いるからである。

なお、下田歌子の社会福祉事業家としての実績については、今後さらに具体的に明らかにされなければならないと考えている。

2. 若き女性の高き志

—本学園の原点—

下田歌子の生涯を知り、第一に強く感銘を受けるのは、生涯を通じて変わらぬ志の高さである。

下田歌子は安政元年、現在の岐阜県恵那市岩村で、岩村藩の藩校（知新館）の教授職にあった平尾録蔵の長女として生まれる。幼名を平尾鉦と名付けた。安政元年は、それまでの鎖国日本が、諸外国と相次いで和親条約を結んで、はじめて世界の舞台に乗り出した年であり、日本はこれにより否応なしに近代化の道を突き進んで行く。激動の時代の幕開けに下田歌子が生を受けたことは、天の配剤ともいえるであろう。下田歌子が担った苦悩は、近代日本の生みの苦しみと重なるものであった。

鉦は学問好きで聡明な少女であり、五歳で俳句、和歌を詠み、八歳で漢籍を解した。当時、いかに学びたくても女性は藩校で学ぶことはできなかったが、このときの思いが、後に女性の教育機関を作ろうとする原動力の一つとなった。

また動乱の時代ゆえに、父の録蔵は、その考え方が藩の方針と折り合わず、幽閑状態で収入がなく、家族は貧しい生活を余儀なくされていた。その清貧な生活の中で、鉦は武家の娘として、母と祖母から厳しく育てられ、女性として身につけるべき事柄を教えられた。この時期に身につけた素養が、後の歌人、源氏物語研究者、家政学者として開花することになる。

鉦は明治四年、十六才の時に、東京に職を得た父を

追って上京する。その様子は道中日記である「東路之日記」（原本は戦災で消失。翻刻が『香雪叢書』第1巻に収められている）に記されているが、故郷と東京方向を隔てる三国山に別れを告げる際の想いを次の歌に託している。

綾錦着て帰らずは三国山また再びは越えじとぞ思ふ

この歌を下田歌子（平尾鉦）と全く切り離して解釈するとしたら、この作り手が16歳の少女だと思えるはずはないであろう。そして歌の解釈としては、個人的な富や名声の獲得といった立身出世の決意を表明したものと捉えるのが自然である。しかしながら、この歌はまぎれもなく下田歌子（平尾鉦）のものであり、この歌が個人的な富や名声の獲得への決意をいったものでないことは、下田歌子の生涯そのものが証明している。下田は自身の保身や欲の為に、物事を左右したことはただの一度もない。武家の娘として育ち、世の中がこれからどうなるのか分からない様な動乱の時代に育った者として、社会に貢献し、その中で自己を実現しようとする決意を表明したものである。

晩年、下田歌子は八十才の誕生日に、改めてこの歌を色紙に記しているが、生涯この志を持ち続けたのである。この決意の表明から28年後に、歌子は本学園を創立することになる。

若き女性の高き志が本学園の原点である。

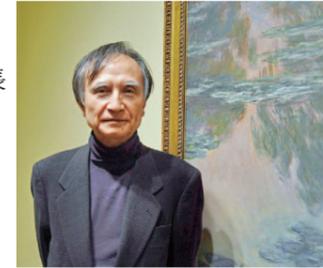
私はこのことを入学式の式辞や「下田歌子に学ぶ」の授業で、学生に必ず伝えてきた。

本稿では、下田歌子（平尾鉦）の生涯の業績と岩村出立周辺の話で筆を置くが、次稿では、欧米女子教育視察、帝国婦人協会設立の主意書、本学園の設立を巡ってのトピックを取り上げていくつもりである。

モネとジヴェルニーの思い出

島田 紀夫

石橋財団
ブリヂストン美術館館長



昭和61年(1986)に大学・大学院が渋谷校舎から日野校舎に全面移転したとき、美学美術史学科が設立されました。私はその数年前から実践女子大学に奉職していたので、渋谷校舎時代の記憶も残っています。

美学美術史学科という名称はあまり知られていませんでしたから、設立するときには苦労しました。応募者もそれほど多くないだろうと心配していましたが、なんとか開設することができました。

入学してきた学生のなかには、美術史は美術館の職員である学芸員になるために必要な科目だと思っている人もかなりいました。たしかに美術史の勉強をしていないと学芸員になるのは難しいかもしれませんが、大学でたとえ学芸員の資格を取っても美術館に勤務できるとはかぎりません。

美術だけでなく、文学でも音楽でも、芸術の歴史や理論を勉強するためには実際の作品にふれることが大切です。美学美術史学科では見学旅行をしてきましたが、私は主にフランスやイタリアやスペインやドイツなどの美術館や教会堂を巡る見学旅行を企画しました。この旅行には美学美術史学科以外の学生も参加していましたから、いろいろな学科の学生たちと触れることができました。

実践女子大学を退職したあと、ブリヂストン美術館の館長に就任しました。ここに掲載した写真の背景は、ブリヂストン美術館所蔵のモネの《睡蓮の池》という作品です。学生たちと一緒にモネの終の住処だったフランスのジヴェルニーを訪ねたことを思い出します。モネは広い敷地に花の庭園と池の庭園を作り、池の周りに柳の木を植え、池の上に浮世絵からヒントをえた太鼓橋を架けました。当時ヨーロッパで流行していた日本趣味の反映でしょう。住まいの食堂には浮世絵が飾られていますが、これはモネが収集した作品の複製です。思わぬところで日本とフランスの美術交流を実感することができますが、こうしたことも美術史研究の興味深いところです。

絵画に描かれた 下田歌子先生

小木曾 雅文

実践女子大学名誉教授



私は退職以来、今年で12年になります。古希を超えて、傘寿となりますと、さすがに心技体のどれをとっても衰退の傾向を認めません。お蔭で今のところ壮健で、毎日のラジオ体操や散歩を楽しむことができています。外国旅行はもはや無理と思いますが、ニューヨーク・タイムズ、ワシントン・ポスト、ロンドン・タイムズ、ガーディアン、デイリー・テレグラフなどの電子版が手許で即時に印刷できて、読めることは、私にとって毎日の至福です。

—昨年40周年を迎えた日本バーナード・ショー協会のメンバーとして、年4回の大会や研究会に参加して、若い男女の研究者にまじって研究の一端を担っていることも喜びです。その東京会場として足場の良い実践桜会を使わせていただけることは、会員一同で深く感謝しているところです。

昨秋の大会に国際バーナード・ショー協会の会長のレナード・コノリー教授が参加、講演をされました。一日、教授を神宮外苑の聖徳記念絵画館にお連れして、陳列されている80点の日本画、洋画をお見せしました。中に「華族女学校行啓」の絵があって、35歳の若々しい皇后を前に、生徒一同と共に校長の谷干城が答辞を読み上げているのですが、31歳の楚々とした下田歌子先生が幹事として皇后の側に控えておられるのを、our founder と言って紹介しました。下田先生は昭憲皇太后に見いだされて、歌子の名前を賜ったのですが、実践の私どもが良く知っている

「手枕は花のふぶきにうづもれてうたたねさむし春の夜の月」ともう一首

「程もなき袖にはいかがつつむべき大内山につめる若菜を」が皇后に認められた歌のようですね。

文系の大学・短大が渋谷に帰って来て、高層の校舎で新しい教育を始める今、この地にキャンパスを開かれた下田先生の力量には舌を巻く思いがします。母校のますますの弥栄を心から祈っています。

学祖祭

10月6日(土)、学祖祭を行いました。午前中は学園理事長、学長をはじめ学園関係者と共に実践桜会理事長、常任理事は護国寺での墓参をすませ、午後は実践桜会会館にて下田歌子先生の祭壇にお参りをいたしました。本年は国文学科との共催により献香台が設けられ、下田先生ゆかりの香木「白菊」の馥郁たる香りの中、多くの会員によって下田歌子先生を偲びました。

平成24年度臨時総会

12月1日(土) 13:00から中学、高等学校校舎第3号館5階会議室にて臨時総会を開催しました。正会員数7470名中、出席者56名、委任状数3706名、定款第17条により総会は成立し、平成24年度補正収支予算、平成25年度事業計画案及び収支予算案が承認されました。閉会後は、講師に湯浅茂雄氏(実践女子大学、短期大学前学長)をお迎えし、「下田歌子研究の新資料について」をテーマとする講演会が行われました。

母校教育助成事業

平成24年度定時総会(5月13日)において、実践桜会より学園助成金を井原学園理事長に贈呈しました。大学・



桜会賞・研究部門
(食生活科学科)



桜会賞・芸術部門
(環境デザイン研究室)



短大「常磐祭」(11月10・11日)において、実行委員会へ協賛金及び桜会賞(研究部門・芸術部門)を贈呈しました。

実践桜会国際交流基金事業

留学生3名(マレーシア、中国、ベトナム)、既卒者1名に奨学金を給付しました。今年度も4月に募集を開始します。

実践桜会奨学基金事業

応募者の中から、大学院研究科専門委員会及び学生生活支援委員会において候補者を選考推薦いただき、実践桜会理事長、事業部理事面接の上、理事会承認を経て下記の学生に給付しました。

いわきり あやか 岩切 綾香	大学英文学科1年
みやお あやか 宮尾 彩香	短大日本語コミュニケーション学科1年
きたかぜ まこ 北風 真子	実践女子学園高等学校2年

実践桜会奨学生交流会(国際交流基金奨学生と桜会奨学基金奨学生)を昨年10月(秋季委員会開催日)と本年3月に開催しました。

社会活動助成事業

会員以外の参加者も視野に入れた諸活動を行った5科会、12支部、学園関係1団体、その他1団体、計19団体に社会活動助成金として上限5万円を助成しました。

実践桜会バザー

平成24年10月27日(土)28日(日)実践女子学園中高体育館ギャラリーアリーナ会場にて、中高との合同バザーを開催致しました。会員の方々、各科会、全国各支部から特産品、手作



り品、雑貨など多数ご寄贈頂きました。皆さまのご協力に厚く御礼を申し上げます。

バザー寄贈品ご提供のお願い

平成25年10月26日(土)・27日(日)に開催されます実践桜会バザーの寄贈品のご提供をお願いいたします。4月より実践桜会会館で受け付けを開始します。
※衣料品は新品に限らせていただきます。

実践桜会親睦バス旅行のご案内

「初夏を彩る甲州さくらんぼ狩りと信玄餅工場見学・高原リゾートホテルでランチ」
出発日:平成25年6月14日(金)
参加費用:8,000円(交通費・昼食代・入園料・保険料)
お問い合わせは実践桜会会館(Tel.03-3407-7459)まで

初春歌舞伎観劇会

平成25年1月14日(月・祝)国立劇場にて、河竹黙阿弥作「夢市男達鏡」(五幕)を尾上菊五郎、松緑、菊之助、中村時蔵らの顔触れで華やかな舞台を観劇いたしました。

TOPICS

吹雪の「祝 成人の会」

平成25年1月14日(月)、「祝 成人の会」が実践女子学園と実践桜会共催で実践女子学園桃天館で開催されました。当日は生憎の雪模様となり、激しい風雪のため、来られなくなった方たちがいたのは非常に残念でしたが、それでも160名もの方々が参加してくださり、初めての会は大盛況のうちに終了致しました。晴れ着姿の卒業生も多く、会場はカラフルで花が咲いたようでした。



実践ときわ会

1月14日成人の日、学園としては初の「成人の会」が催され、ときわ会は会を全面的にサポートしました。新年度は、更に充実した活動のために皆様のご協力、ご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願い致します。

- 総会
4月21日(日) 11:00～14:00
会場:実践桜会会館 会費:2,500円
- 新・成人の会への協力
- フラワーアレンジメント講習会
- 観劇会「リア」:5月25日(土) 14:00
会場:座・高円寺 切符代:3,500円
- 渡辺美佐子氏講演会:6月6日(木) 13:00～
於:実践桜会会館 会費:500円
(ときわ会会長 古藤黎子)

技芸科会

会員が高齢となりまして諸行事への参加に困難者が多く、年々会員数も減少して参りました。行事の際には、一人でも多くの会員が参加し易いようにと内容、場所など留意し開催しております。手芸講習会では、若い会員も増えてにぎやかになり、益々盛んに、と希っております。

- 懇親会(総会と作品展示)
日時:4月25日(木) 12:30～15:30
会場:渋谷エクセルホテル東急6階
- 手作り品製作(実践桜会バザー用)
日時:6月27日(木) 11:00～15:30
- 会報誌発行
・「技芸科会だより」45号発行 8月1日(木)
- 実践桜会バザー協力(バザー当日)
手作り品製作、寄贈、販売
- 定期講習会(会場:実践桜会会館)
ハーダンガー刺繍教室 第2木曜 11:00～15:00
かえで会(染色) 第2火曜 11:00～15:00
編物の会 第3金曜 12:00～15:00
萌黄会(日本刺繍) 第1・3木曜 12:00～15:00

実践被服科会

当会は昨年創立20周年を迎えました。今年度は新たな企画として講演会を開催致します。講演会には下田歌子先生の女子教育論の中で、手芸論に視点を当てたテーマをお願い致しました。被服系卒業生にとっては大変興味深いものです。ここ数年継続している日本の古典鑑賞会は落語を企画致しました。個人では中々体験出来ないことを被服科会の行事でご提供できたらと思っています。実践桜会へのご協力も頑張っております。今年度もよろしくお願い申し上げます。

- 第22回総会と講演会
日時:4月20日(土)

会場:実践桜会会館
総会 11:00～11:35
講演会 13:00～15:00 (会費 無料)
講師:山崎明子氏(奈良女子大学所属)
テーマ「近代日本の手芸—
下田歌子の社会構想と手芸」

- 講演会 つまみ細工体験と江戸蕎麦
日時:6月19日(水)
会場:浅草橋「つまみ堂」
* 江戸時代から続く老舗蕎麦屋にて昼食
- 鑑賞会 国立劇場にて落語ほか鑑賞
日時:9月19日(木)
会場:国立演芸場(国立劇場裏)
* 昼食は館内で、お弁当を用意致します
- 見学会 美術館めぐりとランチ
日時:11月27日(水)
会場:菊池寛実記念智美術館、大倉集古館
(ホテルオークラ内)
* 智美術館内のレストランにて昼食
- 会誌発行
・「歌ごろもニュースNo.17」6月1日(土)
・「歌ごろもNo.22」 12月1日(日)
- * 行事の詳細は、HPに掲載致します。
* 科会会員以外のご参加も歓迎致します。

実践家政科会

地方に多くの食物科出身者がいらっしますが、家政科会をご存じない事を残念に思いました。卒業なさった頃の思い出のみとか…食物科出身の支部長さんが17支部いらっしますので、現在の学園を識って頂きたい、家政科会のある事に目を向けてほしい…お願いは一杯でございますがPRに努めて参ります。

- 見学会 4月20日(水)
神奈川近代美術館葉山、葉山しおさい博物館、山口蓬春記念館
- 家政科会たより 5月20日(月)発行
- 家政科会53回総会 5月26日(日) 10:30～ 新学長をお迎えて
11:30～ クラシックコンサート
食事・懇親会
- 講演会 6月23日(日)講師:本田京子氏
「現代の私達の食生活を考える—健康寿命を如何にのばすか—」
- フランス料理講習会 9月1日(日)
於:アオヤマウラク
9月25日(日)
- 福祉施設作業用エプロン縫製
- 観劇会 10月20日(日)
三越劇場『婦系図』市川春猿、笑三郎、月の助
- 歳末助け合いに参加 12月20日(金)
- 新年会 26年1月22日(日)
於:ハイアットリージェンシー

- 連絡先 TEL & FAX 045-571-0213
(科会長 熊切富子)

実践国文科会

国文科会設立は昭和50年10月19日、第一回(大正12年卒)から旧専門学校最終卒(昭和26年)までの先輩が新制の大学に繋げたいとの熱意から誕生しました。その志に立ち返り、国文科会の山脈を高く守り続けて行きたいと願っています。1. 会員の拡充(活力) 2. 世代継承(絆) 3. 魅力ある事業展開(公益性)

- 総会 4月27日(土) 13:00～
- 記念講演会(総会后) 14:30～
講師:棚田輝嘉先生(文学部国文学科教授)
大正末期の天才童謡詩人、金子みすゞの優しい詩に触れるひととき、みすゞの詩精神に共感したいと思います。どなたでもどうぞお出かけ下さい。
- 東京寄り道文学散歩 6月8日 11:00～
三島由紀夫の小説「橋づくし」の舞台、銀座築地界隈の七つ橋を巡ります。
- 京都一泊旅行 9月下旬
源氏物語宇治十帖の舞台を尋ねる旅。宇治川に船を浮かべ入水した浮き舟を偲びつつ、後、宇治平等院、三室戸寺見学。
- 12月14日(土) 13:00～ 狂言鑑賞会
於:国立能楽堂
- 新年会 26年1月(日時、会場未定)
- 講習会 絵手紙の会
第3日曜日 13:00～

実践英文科会

会員相互の親睦を図り、生涯学習や文化活動を進めていくことを目的として活動しています。その方針は今年度も変わりませんが、その目的を達成していく上で、さらに若い世代の参加を多数得られるように、学部・短大とも連絡を取り合いながら、進めていきたいと思っています。

- 総会・講演会「中世ロマン文学とケルト」
講師:大関啓子先生(実践女子大学文学部英文学教授・実践女子学園PJ研究下田歌子研究所所長)
日時:平成25年6月9日(日)
会場:実践桜会会館1Fホール
- 「英文科会だより」2013 発行9月下旬
- 見学会 11月上旬
- 新年会 平成26年1月26日(日)
- 常設勉強会 於:実践桜会会館
輪読会A:第2・第4金曜日 10:30～12:30
輪読会B:第1・第3金曜日 10:30～12:30

- 連絡先:TEL&FAX 045-862-3744
(科会長 山内典子)